

## 激特事業におけるソフト対策

激特事業のハード対策とあわせ、ソフト対策による水害に強い地域づくりを支援します。

### 水害に強い地域づくりの支援

洪水被害軽減のための具体的な方策や地域との連携などにより、水害に強い地域づくりを推進

- 地方自治体による土地利用規制等による防災・減災対策の推進
- 洪水ハザードマップの整備と避難場所等の再検討の推進
- 危険箇所等における地域住民等への直接情報提供の検討（情報板、簡易ダム情報との連携等）

### 水害時における危機管理体制の強化

- 迅速に** 水防警報、洪水予報等の情報を各地方自治体へ直接伝達
- 正確に** 各地方自治体と防災ネットワークにより直接連携し、実況情報、避難情報も共有
- 分かりやすく** 河川情報板等による分かりやすい防災情報（地域防災情報）の提供、マスコミへの連携情報等の提供

### ハザードマップ作成の支援

災害情報協議会等を活用し、自治体によるハザードマップ作成の支援を強化

### 水害に強い地域づくり委員会の設置

平成18年7月豪雨による深刻な被害軽減を図るため河川改修によるハード対策のみならず流域全体でのソフト対策について、学識者・地域住民・マスコミにより検討を行い、行政機関への提言を行います。



## お問い合わせ先

### ■川内川河川事務所調査課

〒895-8875 鹿児島県薩摩川内市東小路町20-2  
TEL 0996-22-3271 (H) FAX 0996-25-0662  
E-mail sendai@agr.mlit.go.jp  
http://www.agr.mlit.go.jp/sendai/index.htm

### ■鹿児島県土木部河川課

〒890-8577 鹿児島県鹿児島市船場町10-1  
TEL 099-286-3086 FAX 099-286-5825  
E-mail river@pref.kagoshima.lg.jp

### ●北薩地域振興局本庁舎

〒895-8591 鹿児島県薩摩川内市神田町1-22  
TEL 0996-23-5101 (H) FAX 0996-23-5776  
E-mail sendai@pref.kagoshima.lg.jp

### ●始良・伊佐地域振興局大口庁舎

〒895-2511 鹿児島県大口市星53-1  
TEL 0995-22-2111 (H) FAX 0995-23-5166  
E-mail odate@pref.kagoshima.lg.jp

### ●始良・伊佐地域振興局湧水庁舎

〒899-6297 鹿児島県始良郡湧水町米水478-2  
TEL 0995-74-3101 FAX 896-74-4859  
E-mail kurinodobe@pref.kagoshima.lg.jp

### ■宮崎県国土整備部河川課

〒880-8581 宮崎県宮崎市橘通東2-10-1  
TEL 0985-26-7184 FAX 0985-26-7317  
E-mail mailto:kasen@pref.miyazaki.lg.jp

### ●小林土木事務所

〒886-0994 宮崎県小林市福野367-2  
TEL 0984-23-5165 FAX 8864-23-7887  
E-mail kobayashi-doboku@pref.miyazaki.lg.jp

### ■薩摩川内市建設政策課

〒895-8650 鹿児島県薩摩川内市神田町3-22  
TEL 0996-23-5111 FAX 0996-23-8389  
E-mail info@city.satsunamisendai.lg.jp

### ■さつま町災害復興対策課

〒895-1803 鹿児島県薩摩郡さつま町宮之城星地1565-2  
TEL 0995-52-1111 (H) FAX 0995-52-3514  
E-mail kense-doboku@satsuma-net.jp

### ■大口市建設課

〒895-2511 鹿児島県大口市星1888  
TEL 895-22-1111 FAX 0995-22-5344  
E-mail info@city.akuchi.lg.jp

### ■鹿町町建設課

〒895-2701 鹿児島県伊佐郡鹿町町前田2106  
TEL 895-26-1111 FAX 0995-26-1202  
E-mail hishikariccho@oll.synapse.ne.jp

### ■湧水町建設課

〒899-6292 鹿児島県始良郡湧水町木場222  
TEL 0995-74-3111 FAX 0995-74-4249  
E-mail info@town.yuzui.kagoshima.jp

### ■えびの市建設課

〒889-0292 宮崎県えびの市大字東下1292  
TEL 0984-35-1111 FAX 0984-35-0491  
E-mail kensetsu@city.ebino.lg.jp

# 川内川水系

# 激甚災害対策 特別緊急事業

平成18年7月19日～7月23日洪水



国土交通省 九州地方整備局 川内川河川事務所

鹿児島県/宮崎県  
薩摩川内市/さつま町/大口市/鹿町町/湧水町/えびの市

# SENDAIGAWA



## 洪水の概要

平成18年7月19日から23日にかけて薩摩地方北部を中心に発達した梅雨前線の影響により、川内川流域では総雨量1,165mm（西ノ野雨量観測所）に及ぶ記録的な豪雨となりました。

この豪雨により全水位観測所 15箇所のうち 11箇所で観測史上最高水位、7箇所においては計画高水位を超える水位を観測し、川内川本支川において 136 箇所の浸水被害等が発生しました。

## 被害の状況

川内川の上流から下流に至る流域の3市3町（薩摩川内市、さつま町、大口市、菱刈町、湧水町、えびの市）の約5万人に避難勧告等が発令され、浸水面積約2,777ha、浸水家屋2,347戸に及ぶ甚大な被害が発生しました。

	床上（戸）	床下（戸）	浸水面積(ha)
薩摩川内市	91	39	832
さつま町	850	89	302
大口市	116	24	665
菱刈町	109	38	318
湧水町	446	123	450
えびの市	229	179	210
合計	1,641	498	2,777

平成19年5月現在 国土交通省調べ

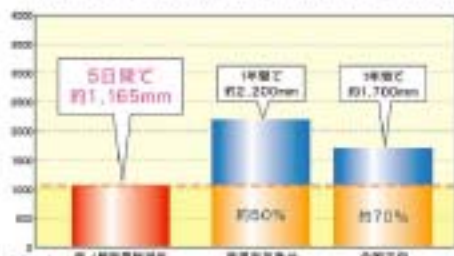
### 川内川流域総雨量図

平成18年7月18日17:00～7月23日13:00の総雨量



### 年間総雨量との比較図

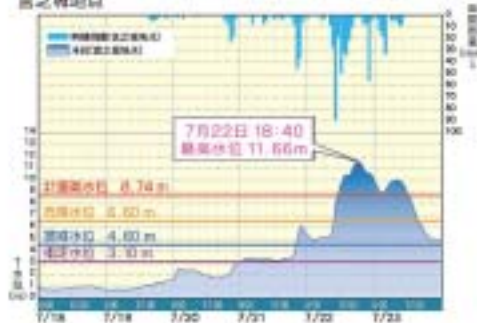
年間総雨量と今日洪水総雨量（西ノ野雨量観測所）との比較



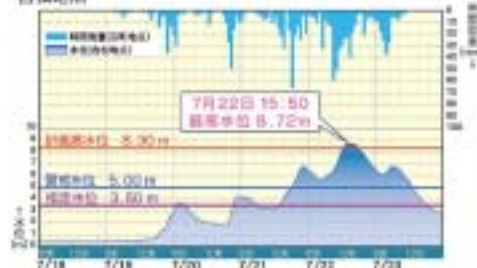
5日間で鹿児島県中・東部の年間総雨量の約50%、全国平均の年間総雨量の70%の高量を観測しました。

### 雨量と水位の状況

宮之城地点



青松地点





## ■概ね5年間の激特事業により、外水氾らんによる家屋浸水被害を解消

再度災害防止を図るために、国が管理する川内川をはじめ鹿児島県及び宮崎県が管理する支川を含めて川内川流域が河川激甚災害対策特別緊急事業(激特事業)として採択されました。

激特事業により平成18年度から概ね5ヶ年間で今回の豪雨に対して、川内川等の外水氾らん(河川からの溢水や逆流による氾らん)をなくし、約1500戸の家屋の浸水被害を解消します。

## ■九州地方では過去最大の事業規模の激特事業採択、採択延長は全国歴代2位

今回の事業規模は全体事業費356億円(九州地整：331億円、鹿児島県：19億円、宮崎県：6億円)で九州地方では過去最大規模、採択延長は川内川本川約62Kmで全国歴代2位の規模となりました。

※平成19年5月現在での計画であり、今後変更する場合もあります。



凡 例	
○ 陸水氾らん(外水)	○ 分 水 路
○ 陸水氾らん(内水)	○ 堤 防 高 上 げ
○ 河 道 掘 削	○ 堤 防 削 削
○ 橋	○ 橋 脚 改 修
○ 橋 中 断	○ 水 門・閘 門

### さつま町域

浸水深約3mに及びる農地等の積積的被害を、河越部大規模ショートカット(遊込分水路)と河道掘削、築堤により解消します。  
その他の地区は土地利用に応じた治水方式で早期効果を発現します。

### 薩摩川内市域

土地利用に応じた治水方式(築堤・橋中継)で早期効果を発現します。

### 浸水区分

#### 外水(がいのし)

堤防の外側を流れている川の洪水のことです。また堤防のない橋所や越水により住宅地などへ流れ込んだ場合を外水氾らんといいます。

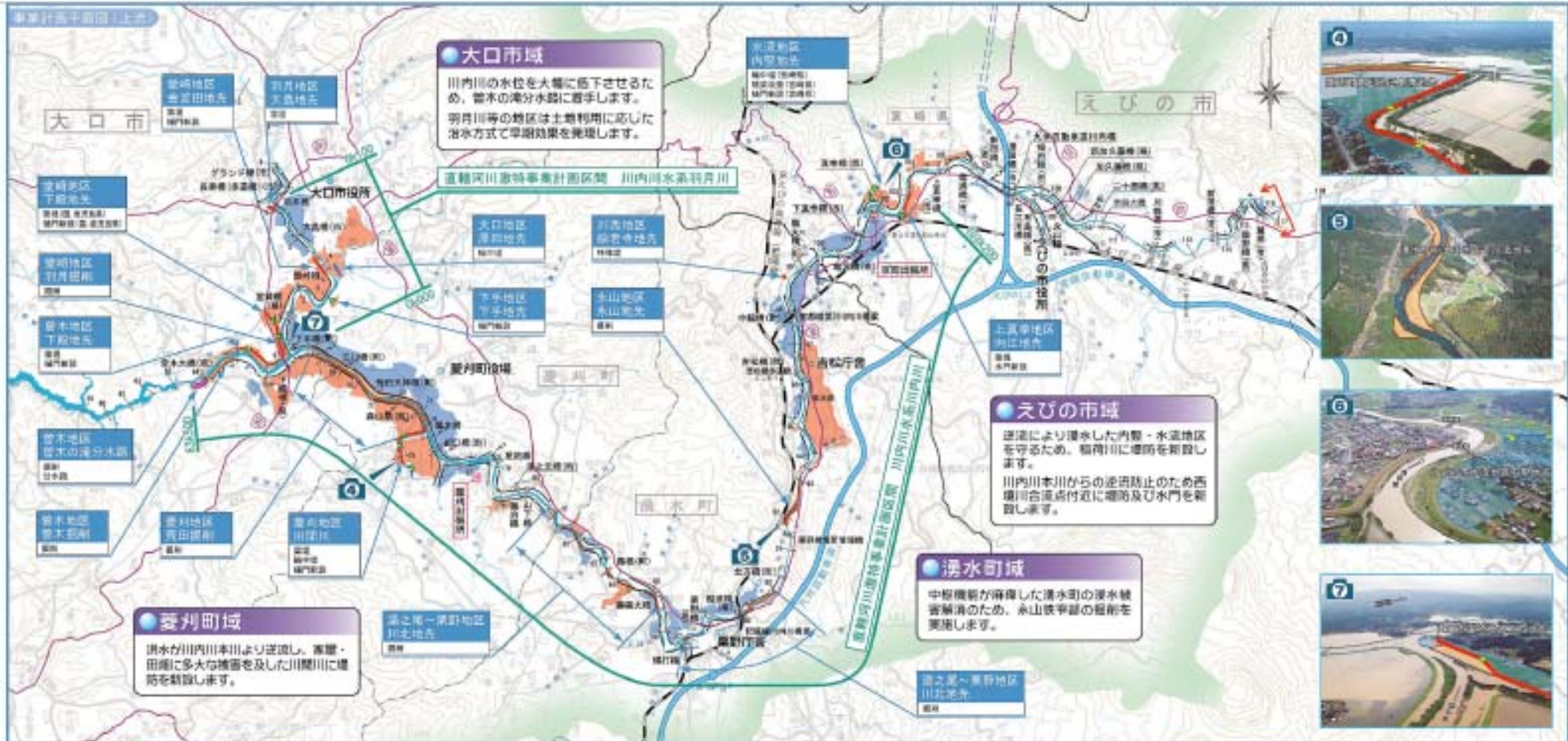


#### 内水(うちのし)

堤防の内側へ降った雨水が排水しきれずに溜まった水のことです。堤防の内側を流れる支川などが氾れれば水もこぼれられます。







**河道掘削 (かどくわくさく)**

多くの水を流せるように、河道内を掘削することを河道掘削といいます。洪水時において水位低下を図ります。



**築堤 (くわてい)**

堤防が無いあるいは堤防が低い箇所において土を築って築堤することを築堤といいます。洪水時において、外水による被害を防ぎます。



**輪中堤 (わしゅてい)**

特定の地域を洪水から守るために集落の周囲を囲うようにつくられた堤防を輪中堤といいます。洪水時において、外水による家屋浸水被害を防ぎます。



**分水路 (ぶんずいり)**

洪水時に多くの水を流しやすくするために河川を人工的に分離させて造られた水路を分水路といいます。洪水時において速やかに水を流すことにより河川の水位低下を図ります。



**家屋高上げ (かおくかさあげ)**

主に浸水被害が少ない地域で洪水から家屋を守るために、家屋の敷地を高くすることを家屋高上げといいます。洪水時において、外水による家屋浸水被害を防ぎます。

